

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第1回高松市社会教育委員会議
開催日時	令和元年10月21日(月) 午前10時～11時15分
開催場所	高松市防災合同庁舎5階 501会議室
議題	(1) 審議事項 (ア) 生涯学習事業の進捗状況報告について (イ) 第2期高松市教育振興基本計画の見直しについて (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	山神委員、岡委員、上原委員、野上委員、平井委員、(欠席委員4名)
傍聴者	1名(定員3名)
報道記者	0名
担当課及び連絡先	生涯学習課 839-2633

会議の経過及び結果

(1) 審議事項

(ア) 生涯学習事業の推進状況報告について

高松市生涯学習事業の推進状況報告について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

都市交流室で行っている「下野国分寺・讃岐国分寺親善友好交流事業」について、市政としての評価が知りたかったのだが、報告書に掲載されていないのはなぜか。

(事務局)

その事業については、この施策体系の枠組みの中では拾えていなかった。担当課に伝えたい。

(委員)

各課が設定している目標について、参加人数や事業数等の数値目標がほとんどであるが、社会教育・生涯学習の分野においては、人の意識の変容など、数値では計れないものがあるのではないかと。となると、市民意識アンケート調査を毎年行い、反映すべきと考えるがどうか。

(事務局)

意識調査について、一つ一つの事業に対して、それぞれ毎年アンケート調査を行うというのは難しい。生涯学習課としては、5年に1度「高松市生涯学習市民意識アンケート調査」という形で調査を行っており、その結果を計画に反映していく。

(委員)

「年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業」について、中学生にとって、乳幼児と関わることは将来につながることはもちろん、乳幼児の保護者に対しても大変良い影響を与える。予算の問題もあると思うが、今後も続けていっていただきたい。評価がCとなっている点について、実施団体における受け入れ態勢は整ってはいるものの、学校とのやり取りやボランテ

会議の経過及び結果

ィアとの個人的なやり取りが難しいのが現状である。学校との連携をもっとスムーズにできれば、ボランティア参加者も増加すると思う。

また、「子ども未来ネットワーク会議」について、学童保育部門において、すでにネットワーク構築が図られているのであれば、ネットワーク会議をわざわざ実施する必要はないと考える。

(事務局)

御意見を担当課に伝えたい。

(委員)

「地域活動推進事業」について、指導員の派遣を子ども会や育成会に限っているが、NPO法人やその他団体に広げれば、申請の増加が見込めると思うが、どうか。

(事務局)

現在のところは子ども会・育成会に限った事業であるが、意見も踏まえて今後、検討していきたい。

(委員)

「子ども会フットベース大会」「新春子どもフェスティバル」について、参加人数の減少等が課題となっているが、開催日程や開催場所の変更によって参加人数の増加が見込める場合もあるので、検討していただきたい。

(事務局)

検討を重ねた上での日程・場所設定であるが、改善できないか改めて検討する。

(委員)

学校に出向く交流事業について、次の世代を担う子どもたちが、この事業で経験したことを家で話すことによって、家庭でのコミュニケーション活性化にもつながるので、ぜひ続けていただきたい。

(事務局)

御意見を担当課に伝えたい。

(委員)

図書館について、家族で一緒にできる取組み等があれば、もっと図書館を有効利用できると思う。

(事務局)

図書館という場所をもっと利用していただけるように、お話し会を含め各種イベント等を行っているが、昨年度より、「高松市子ども読書まつり」の中で中学生の「ビブリオバトル大会」を開催している。本に興味を持ってもらい、本を手取るきっかけになればと考えている。

(イ) 第2期高松市教育振興基本計画の見直しについて

第2期高松市教育振興基本計画の見直しについて、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

「ネット依存・ゲーム依存の防止や自己管理能力の育成」について、保護者向けの教育が重

要になってくるとともに、子ども自身で自己管理が楽しくできるようなシステムがあればなお良い。また乳幼児でも、指が使えればスマホを使ってしまうことがあるので、できれば妊婦向けの教育も行っていただきたい。

(事務局)

現在子ども向けには、「家族でチャレンジ！ノーメディア」と題し、市内全小中学校に対し、チラシや「わが家のメディアルール」の作成を促す用紙を配布して、家族を巻き込んでメディア・ゲーム・スマホ等を休止・制限する取組の啓発を行っている。保護者向けについては、幼稚園の保護者向けに、ネット依存対策の講話資料の作成・配布を検討している。また、青少年健全育成の各種団体やPTAとも連携してチラシ等を作成し、市内でのパレードやキャンペーンを行い市民への啓発も検討している。妊婦向けの教育については、今後検討したい。

(2) その他

委員に意見がないか、また、自身に取り組んでいることで紹介したい内容がないか確認する。

委員から、自治公民館の活用に関して市政の計画に盛り込み、自治会の活性化につながるような施策を作ってほしいと意見があった。

他に意見等はなかったため、以上をもって、本日の会議を閉会することとした。

以上